

第 147 回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2024 年 7 月 3 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1 階交流フロア

2 参加者 12 名

3 会議内容

＜新規内容＞

（1）懐かしくて新しいわらべうたの遊びとおはなし会

【概要】

・2 ヶ月おきにイベントしており、リピーターの方から「次は 8 月ですね」と言ってもらっているのを開催したい。

【意見】

・8 月の午前中は、1 階交流フロアでラジオ体操とアニメの上映会（30 分）を実施しているので、イベントを続けてするか分けてするかなどの検討が必要。

・マイクを使って人数を増やすなどできるか。

→30 人ぐらいまでは経験がある。マイクできるだけ避けたいが、使うことも可能。

・それぞれの会でテーマは決まっているか。

→開催時期の季節に合わせて行っている。

・事前予約制にして、余裕があれば当日に若干増やすなどしてはどうか。

・ラジオ体操後に続けてする場合は、誰でも参加出来る形か、確実にラジオ体操参加者がはけた後の 11 時くらいからやる方が良いと思う。

・リピーターの方が多くおられるので 11 時からの実施がよいのではないか。ラジオ体操の後だと運営管理が困難ではないか。

（2）ピアノ演奏による絵本の読み聞かせ

【概要】

・NPO 法人を立ち上げ、メンバーの多くが音楽に携わっているので、その特技を生かして親子で楽しみながらできるイベントをしたい。

・ことば蔵で、絵本の世界とピアノの演奏を融合したい。「はらぺこあおむし」は、音楽に歌詞がついているので楽しい。ただ 5 分で終わってしまうので、ご家庭に帰ってから「今日はこんなだったね」とお話がしてもらえように「はらぺこあおむし」のリースの制作を行い、思い出に持って帰ってもらいたい。

【意見】

・音出しイベントは、ことば蔵が図書館である都合上、2・3階の図書館がお休みになる第1木曜日から、年に1回、6月の特別整理日限定となる。

・子どもは、何歳くらいを想定されているのか。

→想定はしていない。ちっちゃい子どもだったら絵本なので楽しめる。小学生の高学年から大人の方でも、連弾でピアノの演奏を行うので楽しめる。

・絵本の記念日とかに実施すれば、記憶に残りやすく参加者を集め易い。

・未修学児対象であれば、平日の木曜日でも実施ができる。小学生になると、長期休暇の第1木曜日が限られる。

・子どもが音楽教室でリトミックと工作をしている。先生が土台を作ってくれていて、子どもたちはシール貼りをしている。小さい子どもでも楽しめている。

→家に持って帰って親子で話せるようなイベントにしたいと思う。

・ピアノの連弾とは何か。

→1台のピアノを2人が同時に弾く。

・「はらぺこあおむし」のリース制作に使用する材料は全て用意されるのか。

→今回初めてなので、参加費をいただくかは相談させてもらう。

・1回の演奏だけでなく、リース制作後にも演奏があるとより楽しめると思う。

（3）夏休みラジオ体操終了後の防災イベント

・夏休み、ラジオ体操後に30分から1時間ぐらいの短い防災関連イベントを、不特定多数の方対象に、普段あまり経験しないことを体験してもらう。内容としては①応急手当体験会②防災に関する講座③工作の3パターンを想定。

・①応急手当体験会は、講義を省いて実技体験を中心に行う。

・②キッズ・サバイバー講座では、電気や水道がなかったらどうするかクイズ、マイハザードマップの制作による避難経路を作り、非常持ち出し袋を子どもの視点から作ることをしてきた。今回のイベントで一緒にするか別でするかは、時間の範囲内で考えたい。

・③工作について、ペットボトルランタンやペットボトル空気法作成は、100人には対応できないが、科学館でしている紙コップ空気法だと出来るかもしれない。

【意見】

・事前に告知せず、当日参加のみですと。ラジオ体操の初めは、参加者が多いと聞いている、大体何人ぐらいまで対応できるのか。

→10人ぐらい滞留させて、流れるように1人ずつやってもらう形だったらできると思う。人形は1個なので、多かったら待ってもらって体験してもらう。

・告知なしにやりたいとのことだが、市民企画のイベントとしてチラシはあってほしい。ある程度の日程を決めて、その他プラスがあるかもしれないぐらいという告知は行いたい

・人数が多い中での物作りは、順番にやったとしてもカオスな状態になると思う。やはり講義形式で、資料を渡して説明し、「家帰ってから 避難経路作ってね」という形であれば、人

数のコントロールも出来るかと思う。

(4) キッズ・サバイバー講座（防災キャンプ編）

【概要】

- ・フロアにテントを立て、防災キャンプという風になっている。前半にランタンを作って、それから防災の講座をテントの中で行う。
- ・災害時に役立つもので、前はジャッキアップと毛布タンカ体験も行う。
- ・参加者は、基本的に小学生を対象にしている。

【意見】

- ・これは夏休みに考えておられる、イベントとは重ならない内容なのか。
- ラジオ体操後のイベントは、これの中から少し抜粋して行う。ラジオ体操の後は興味のない方を対象にしている。知ってもらうことを中心に考えている。
- ・過去に開催していた同イベントでは、受講修了書を渡していたが、今でも渡しているのか。
- 現在は渡していない。

(5) 応急手当体験会

【概要】

- ・消防局では応急手当講習会を月に 1 回、平日の午前中に 3 時間かけて行っている。終了書が仕事に必要な保育士さんとかが来られるケースが多く、一般の人は中々参加しづらい現状がある。
- ・この体験会では、体験したいという人に向けたもので、気軽に参加できるよう日付は土日、時間は 1 時間半で実施する。

【意見】

- ・受けたら資格の申請に出せるような修了書とかをもらえたりするのか。
- 発行できる条件を満たしていない。e ラーニングなどの条件を整えれば出せるが、そこまではしない予定。
- ・消防局の講習会と、この体験は目的が違うと思う。消防局で受講するのは、仕事上取る必要がある人がほとんどで、こちらでやろうとしているのは、あなたの家族が倒れたその時に、AED とか使えるようになるための体験会。そこを押し出していくべき。
 - ・とっつき易くするためにチラシの字体をちょっと柔らかくする。「大切な人を助けるため」などのキーワードを使い心に刺さるようなキャッチコピーを作る。AED で救命率が上がっていることも盛り込みたいのはどうか。
 - ・キッズ・サバイバー講座や応急手当講座を定期的で開催してきて、参加者が防災の知識を身につけた手応えはありますか。
- 正直なところは、あまりない。興味を持っている人の幅が狭く、イベントの内容としてもリピーターができるようなものではないので、実感できる場所が少ない。

・子育て中の身としては、子どもが誤飲した時どうしたらいいかを知っておきたいが、なかなかそういうのを受け入れてくれるところがない。

→応急手当体験会では、気道を詰めた場合の簡易的なものはやっている。

・キッズ・サバイバー講座は小学生向けだが、親を対象に災害の際に子どもを守る講座なら需要はあると思う。

・夏休みのラジオ体操後に、普段意識してない方を呼び込もうとされていたが、忘れたころに災害がやってくる。意識の低い方を参加させることに意義があるような気がする。

・来年の1月で、阪神淡路大震災から30年であつたりするのでその時期の開催も検討してほしい。

<イベント報告>

(1) 6月6日：声で届ける朗読を楽しもう。

「少年の日の思い出」と言う、ヘルマンヘッセの作品を朗読した。小説の中でクジャクヤマユが登場するので、昆虫館に協力いただき展示・解説と朗読のコラボで実施した。馴染みのあるお話だったこと、朗読の好きな方々に告知出来たことで、多くのお客様に来てもらった。

(2) 6月7日：歌と物語図書館のアフターヌーン。

66人が参加し、第1部は、東北地方の民話を朗読した。第2部は、オカリナの伴奏で参加した方と一緒に歌った。第3部は、宮沢賢治を取り上げ、少し生涯の話をした後で、参加者と一緒に「雨にも負けず」群読した。参加された方々からは、楽しむことができたという感想が多かった。

(3) 6月16日：わらべうた遊びとお話の会。

むかし話をする方と「狐の窓」というユニットを組んだ。手ごたえも良かったので引き続きこの形でやっていこうと思っている。60代、70代、80代の方が半分ぐらい、親子さんが半分ぐらいで、全体で21人の参加があつた。高齢の方は懐かしく楽しかったと喜んでいて。若い親子は、これから子どもと一緒に遊べたらいいとの感想があつた。

(4) 6月26日：漫画で語ろう

今回、8名が参加した。最初にテーマ絞ろうという意見があり検討した。漫画紹介では「じゃりん子チエ」「うしおととら」などの漫画が出てきた。

次回は7月24日(水)18時30分から開催。

(5) 6月27日：ふれあい親子ヨガ

今回は3ヶ月から2歳数ヶ月の子の参加があつた。子どもたちが母と触れ合い、愛情を感じ

じ、アイコンタクトで声かけをもらうことが、発達の段階で心の土台になると思っている。
参加者の感想も「子どもと触れ合いながら、自分の体も動かす時間が作れて、運動不足の解消につながりました」とあり、当初から作りたかった「触れ合い親子ヨガ」になったと思う。

（６）６月３０日：２分で心をうるおす名曲セラピー

当日は雨で、予約３０人だったが２４人の参加となった。内１２名が７０代～８０代の方であり、半分以上がリピーターだった。４、５、６月と連続開催で全てに参加した方がいた。アンケートでは、「くよくよすることが多い私ですが、元気をもらった」「毎日明るく１日を過ごすことができるようになりそうです。」との声があった。

４ 次回の運営会議 ２０２４年８月７日（水）１８：００～ ことば蔵１階 交流フロア